

地震と同時に、あるいは直前に、ゴーツとかドーンとかいう音が聞こえることがあります。こういう音を地鳴りといいます。地鳴りだけ聞こえて、振動を感じないこともあります。地震計で観測すると、小さい地震であることがわかります。地鳴りは、山地など地盤が岩石でできているところで聞こえることが多いのです。□一

井戸水がふえたり、へったり、にごったりすること、地割れから水や砂をふきだすこと、温泉の湯の量がふえたり、へったり、温度が変わったりすることは、大地震のときはたいいおこります。□二

大地震のとき、空が明るくなったとか、山の中腹に光が見えたとかいう記録もいろいろあります。松代(群発)地震のときはカラー写真で記録されました。□三

地鳴りや、井戸水・温泉の変化がおこることはたしかであり、そのからくりもだいたいわかります。□C、光の見えることや、生物の行動の異常などについては、それがほんとうに地震に関連しておこったことなのかどうか、たしかなデータがまだ十分ではありません。□四

地震のときだけあって、地震がないときにはおこらないことなのかどうか、よくたしかめる必要があります。大地震の後は、人びとが戸外に出ていることが多いし、まわりのできごとに気をつけていますから、地震のないときには気づかれずに見すごされていたことが、とくに注意をひくこともあるでしょう。

□七 こういうできごとは、あとで専門家がいつてもみることができません。気がついたら、いつ、どこで、どんなことがおこったかをしっかりとどけて、正確に記録しておいてください。

たしかなデータがたくさん集まると、そういう出来事がほんとうに地震と関係があるのかどうか、あるなら、どういうしくみでおこっているのかなど、研究を進めることができるでしょう。

(茅野一郎『地震をしらべる』より)

問一 —— 線部1「震源」・ —— 線部2「震央」とは、どのようなものですか。それぞれ本文から抜き出して書きなさい。

問二 —— 線部3「マグニチュード」とは、地震の「何」をあらわす言葉ですか。本文中の語句を用いて答えなさい。

問三 —— □A □C に共通してあてはまる文と文をつなぐ語を一つ書きなさい。

問四 —— 線部4「地震の場合はくふうです」とありますが、なぜですか。本文中の語句を用いて説明しなさい。

問五 —— 線部5「からくり」と同じ意味の三字の語を本文からさがし、抜き出して書きなさい。

問六 —— 線部6「よくたしかめる必要があります」とありますが、そのためにはどのようにしたらよいと筆者は述べていますか。

本文中の語句を用いて説明しなさい。

問七 —— 線部7「こういうできごと」とは、どのようなことですか。次のア～オについて、あてはまるものには「○」、あてはまらないものには「×」で答えなさい。

ア 地震と同時に地鳴りが聞こえてくること。

イ 地割れから、水や砂がふきだすこと。

ウ 大地震の時、空が明るくなったり光が見えたりすること。

エ 松代地震の時、光をカラー写真で記録したこと。

オ 地震の後、人々が戸外に出ていること。

問八 次の文は、どこに入れるのが最もふさわしいですか。□一 □四の中から選び、記号で答えなさい。

どうしてそういうことがおこるのかもわかっていません。

【三】次の文章は、大石真『風信器』の一節です。「ぼく」の町にピストル強盗が逃げこんでいることが話題になっている時、友人の井川君がその強盗は自分たちの学校に隠れていると言い出しました。以下はそれに続く文章です。よく読んで、後の問いに答えなさい。

鐘がなった。今まで、てんでんばらばらに校庭で遊んでいたみんなは、いっさんに朝礼台に走って集まった。ピリピリ、白シャツ白ズボンの山本先生が台の上で笛をならした。玄関から先生方が出てきて朝のあいさつをした。校長先生のお話、ラジオ体操。なんだか、ぼくは夢をみているように、ぼんやりしていた。なんにも頭にはいつてこなかった。

朝日をガラス戸にきらきら受けた、あの、だれもない校舎のどこかに、ひとりの男がかくれている。そして、それを知っているのは、ぼくと井川君だけだ。

体操をしながら、ぼくの目は、**A**校舎にむけられていた。すると、レントゲンをかけたように、ぼおうっと、あたりはかすんでしまつて、強盗の黒い影だけが、クッキリうかんでくるのだった。思わずぼくは目をきつくつむつた。それから**B**ひらいた。そんなことをなんども、なんども、くりかえしていた。

【一】その日一日、ぼくは井川君のそばばかりにくつついていた。まるで、井川君のそばをはなれては、恐ろしくて一時もいられないというように。

理科室のうす暗い天井を見ながら、井川君は、また、こんなことをささやいた。

「ほうら、天井にあんなにしみがついてるよ。あんなしみ今までなかったろ」

「……………」

「ぼんやりするな。頭をはたらかせろよ。なんのしみだかわかるかい？」

「わからない」

小さく答えると、

「ばかだな、あいつのだよ。オシッコのしみ」

と、井川君は教えてくれた。そういわれてもぼくはちっとも笑わなかったし、井川君も大まじめだった。

「いなよ、だれにも。いいか」

井川君は、もう一度、心配そうに念をおした。

夕方、家に帰って、夕刊を読んだ。強盗の記事が見たかった。なにも書いてなかった。ぼくは、よほど家の人に話そうと思った。じぶんひとりだけの胸のうちにかくしていることは、恐ろしくって、つらくって、がまんができないほどだったのだ。でも結局いわずにしまった。井川君との約束をたいせつにしたかったのだ。

【二】「きみ、からだでも悪いんじゃないの？」

その次の日、算数の時間、先生にあてられて、ぼくがとんなまな答え方をして組中から笑いにされたとき、となりの津田君が、**C**ぼくにいった。

「顔色が悪いよ」

そういわれて、ぼくは泣きたくなかった。笑われたことがくやしかったからではなかった。そうではなくて、みんながあんまりのんきすぎて、腹がたつたからだ。

そのとき、ぼくはたしか天井でゴトゴトいう音を聞きつけたのだ。それにすっかり気をとられて、先生の話のほうはお留守になつてしまったんだ。

もうすこしで、ぼくは机の前に立って、こうどなりつけるところだった。

「みなさんの頭の上にピストル強盗がいます！」

ああ、もし、そうさげんだら、どんなことになるのだろう。

【三】つぎの日の昼休み、ぼくはその日にはらう教科書の代金を忘れてしまったので、弁当をたべおえると、いそいで家へとびだしていった。かけていったものだから、七分ぐらいで家についてしまつて、五時間目の授業がはじまるまでには、ゆっくり歩いてもどつても、時間はまだタップリあまっていた。

そこで、ぼくは、とちゅうの神社の境内をつつきるとき、ふと、フジ山にのぼつてみようかしら、という気持ちになつた。ぼくのいうフジ山は、三千七百メートルもある高い山のことではない。境内のはずれにある、箱庭のように小さな山のことだ。でも頂上

にのぼると、ぼくらの町が一目に見わたせた。ぼくはそれを見るのがすきだった。むしろにそのけしきがながめたかった。そうしたら、この二、三日の、すつぼり頭におおいかぶさった、もやもやした気持ちも、いくらか、消えてゆくのではないかと思った。おとなの人のいう神経スイジャク病に、ぼくもかかったのかもしれない。

小さな山だけれど、小石まじりの、ねっとりした赤土の急な路で、この山をのぼるには山のからだ中に植わっているツツジの木のたすけをかりなければならなかった。ツツジの枝に手をかけて、アリのようのにのぼる。草むらから虫がはねてとんだ。

四 もう、頂上に近かった。ツツジの枝の合い間から、チラホラと秋の空が見えだしてきた。

あとひと足、と右足が小さな岩のさきにかかったとき、ぼくは頂上にだれかがいることに気がついた。ツツジの枝のすき間から、ちらっと人影がはいつてきたのである。

だれ？ ぼくはちよつと恐ろしい気持ちで人影を見つめた。

それは子どもだった。それも知らない子どもではなかった。背中のツギで一目でわかった。同級生の弘だったから。

恐ろしさが、そのままつかしきにかわって、ぼくはもうすこしで声をかけそうにした。が、声にならぬうちに、弘のある動作が、はつきりとうつたのだ。頂上の岩に腰を下ろし、こちらに背中を見せて——だから、町を見下ろす姿勢で——弘は弁当をたべていたのだ。ぼくは D した。そして、そのまま、いそいで山を駆けおりにいった。

五 「オドロイタ。オドロイタ」そんなひとりごとが、ひとりでに口を出た。

山を一気にかけおりに、平らな、日のあたる道に來たとき、ぼくははじめて大きく息をすいこんだ。胸がごとごといていた。

ほんとうに、ぼくはびつくりした。弘が弁当どろぼうだとは。銀行の強盗でなくて、弘だとは。いや、まて、ぼくの勘ちがいかしらん。弘は、じぶんの弁当をたべていたんじゃないかしら。でも、それなら、どうして、みんなといっしょに、教室でたべないのか。

E

いや、ちがうよ。弘はそんな子じゃない。

二つの考えが、頭の中でつつつきあった。

すると、まるで、風にとび散らされた写真のように、弘のことがいくつもいくつも思いだされた。

* 風信器 …… 建物の屋根等に設置する風の方向を知らせる機器。

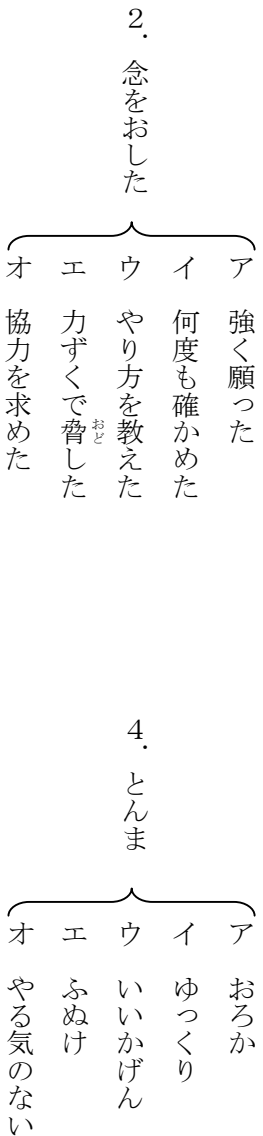
問一 A D にあてはまる語句として最もふさわしいものを、次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア そつと イ キツと ウ ハツと エ パツと

問二 線部1「あいつ」とはどのような人のことですか。本文から二字で抜き出して書きなさい。

問三 線部2「念をおした」・線部4「とんま」の語の意味として最もふさわしいものを次の中から選び、それぞれ記

号で答えなさい。



問四 線部3「井川君との約束」とはどのような約束ですか。三十字以内で説明しなさい。

問五 線部5「ぼくは泣きだしたくなった」とありますが、なぜですか。本文から抜き出して答えなさい。

問六 線部6「それ」の指す内容を本文から十字以内で探し、抜き出して書きなさい。

問七 線部7「ふと、フジ山にのぼってみようかしら」という気持ちになった」とありますが、なぜですか。説明しなさい。

問八 E には 線部8「二つの考え」のうち一つが入ります。あてはまる文を自分で考えて書きなさい。

問九 本文内容を大きく二つに分けるとしたらどこで分かりますか。後半が始まる段落を 二 五 の中から探し、段落番号 二 五 で答えなさい。

平成21年度入学試験（一次A日程）

清心中学校

算数（その2）

受験番号		名前	
------	--	----	--

2 次の問いに答えなさい。

(1) 半径が100mの円の形をしたジョギングコースがあります。

① ジョギングコースは一周何mですか。

[求め方]

答 _____ 人

答 _____ m

② 分速40mで歩いたとき、1周するのに何分何秒かかりますか。

[求め方]

答 _____ 分 _____ 秒

(2) A, B, Cそれぞれの仕入れ値が1個250円, 300円, 350円の品物があります。Aを1個, Bを2個, Cを3個の計6個を6個とも同じ値段で売ったとき、利益が800円でした。売った値段は1個いくらでしたか。

[求め方]

答 _____ 円

3

ある中学校の現在の生徒数は540人で、そのうち岡山県内に住んでいる生徒の割合は35%です。1, 2年生だけの岡山県内に住んでいる生徒の割合は45%になります。毎年180人の新入生があるとして、次の問いに答えなさい。

(1) この中学校の岡山県内に住んでいる生徒の人数は何人ですか。
[求め方]

(2) 3年生の岡山県内に住んでいる生徒の人数は何人ですか。
[求め方]

答 _____ 人

(3) 来年度、新入生を加えて岡山県内に住んでいる生徒の人数が、全体の50%になるには、新入生の県内に住んでいる生徒の人数が、県外に住んでいる生徒の人数より何人多ければいいですか。
[求め方]

答 _____ 人

算数（その3）

受験番号		名前	
------	--	----	--

4 あるお店では、開店の午前10時から閉店の午後7時まで、4つの曲A, B, C, Dをこの順番に繰り返し流します。曲の長さは、曲Aは2分30秒、曲Bは1分45秒、曲Cは3分10秒、曲Dは2分50秒です。このとき、次の問いに答えなさい。

(1) AからDの4つの曲が、1回どおり流れるのにかかる時間は何分何秒ですか。
[求め方]

答 分 秒

(2) 開店から2時間後ほどの曲が流れていますか。
[求め方]

答

(3) 閉店までに、曲Bは何回流れたことになりますか。なお、曲の一部でも流れた場合は1回と数えます。
[求め方]

答 回

5

2せきの船AとBが向かい合って進んでいます。船の速さはAもBもどちらも時速36kmです。Aが汽笛を鳴らし、それを聞いてすぐにBも汽笛を鳴らし返しました。Aが汽笛を鳴らしてから17.5秒後にBの汽笛がAに聞こえました。音の速さはつねに1秒間に350m進むものとし、また、船の大きさは考えないものとするとき、次の問いに答えなさい。

(1) 船は1秒間に何m進みますか。
[求め方]



答 m

(2) Aが汽笛を鳴らしてから何秒後に、Bはその汽笛を聞きましたか。
[求め方]

答 秒後

(3) AとBのきよりが1.4kmに近づくのは、Aが汽笛を鳴らしてから何秒後ですか。
[求め方]

答 秒後